



四日市羽津医療センター地域医療連携室広報

すずらん通信



Vol.84(2023.6)

令和5年4月より副院長に長谷川浩司が就任致しました

早くも眩しい陽光に初夏の到来を感じるこの頃ですが、皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

私は本年1月に四日市羽津医療センターに着任し、4月1日付で副院長兼感染対策室長に任命されました長谷川浩司と申します。新型コロナウイルスも5類へ移行し新たな局面を迎え以前の日常が戻りつつありますが、日本を取り巻く諸問題は未だ解決の途にあります。しかし、先人の歩みが示すように、医療においても各々が専門分野の力を発揮し連携したなら、今を振り返る時が訪れると思っています。

私は昭和60年に信州大学医学部を卒業し三重大学と当時の社会保険羽津病院で研修後、三重大学大学院にて学位取得後、平成4年に県立塩浜病院に赴任し、その後県立総合医療センターと三重中央医療センターで消化器疾患（主に肝疾患）の診療に従事しました。平成26年から令和4年までは三重大学医学部附属病院の肝炎相談支援センターにて肝疾患の診療や臨床研究と啓発活動に携わりました。

この間、難治であったC型肝炎も飲み薬でほぼ100%治り、B型肝炎も病勢をコントロールできる時代となりました。今は、かつて健診病と言われた脂肪肝からの肝硬変や肝がんが増加し問題となっています。但し全ての脂肪肝が癌になるわけではなく、どのような脂肪肝が肝硬変や肝がんに移行するか研究が進んでいる現状です。新規保険収載された肝脂肪化定量やエラストグラフィを活用し、良い脂肪肝と悪い脂肪肝を識別するバイオマーカーが登場する日も遠くないと考えます。

更に脂肪性肝疾患は、心血管疾患や多臓器がんの発症にも関わります。脂肪肝の成因は生活習慣の乱れに加え、サルコペニアや腸内細菌叢の変化など多岐に渡ります。診療ガイドラインにて一次スクリーニングや治療のフローチャートが策定されましたが、検討すべき課題は少なくありません。

この度ご縁があり、約20年ぶりに四日市の地域医療に関わらせて頂くことになりました。これまでの知見を基に微力ながら貢献できるよう努力する所存です。

今後とも、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

文責： 四日市羽津医療センター 副院長兼感染対策室長

長谷川 浩司



2023年度新着任医師紹介



長嶋 一訓
ナガシマ カズノリ

H31.3 三重大学卒

専門： 糖尿病内科

モットー： 患者さんに寄り添った医療を心がけます



青田 紗季
アオタ サキ

R3.3 近畿大学卒

専門： 消化器内科

モットー： 患者さんの悩みを引き出し、悩みに寄り添った医療を心がけます

研修医



大谷 暉
オオタニ ヒカル
R5.3 三重大学卒



岡田 愛絵
オカダ マナエ
R5.3 三重大学卒



面谷 卓馬
オモタニ タクマ
R5.3 鳥取大学卒

今年度は6名の研修医が入職致しました



服部 秀世
ハットリ シュウセイ
R5.3 三重大学卒



宮尾 まな
ミヤオ マナ
R5.3 三重大学卒



吉澤 優人
ヨシザワ ユウト
R5.3 東京慈恵会医科大学卒



四日市羽津医療センター 地域医療連携室 すずらん

〒510-0016 四日市市羽津山町10-8 病院代表TEL：059-331-2000

すずらん直通TEL：059-331-6003 すずらん直通FAX：059-331-6004

